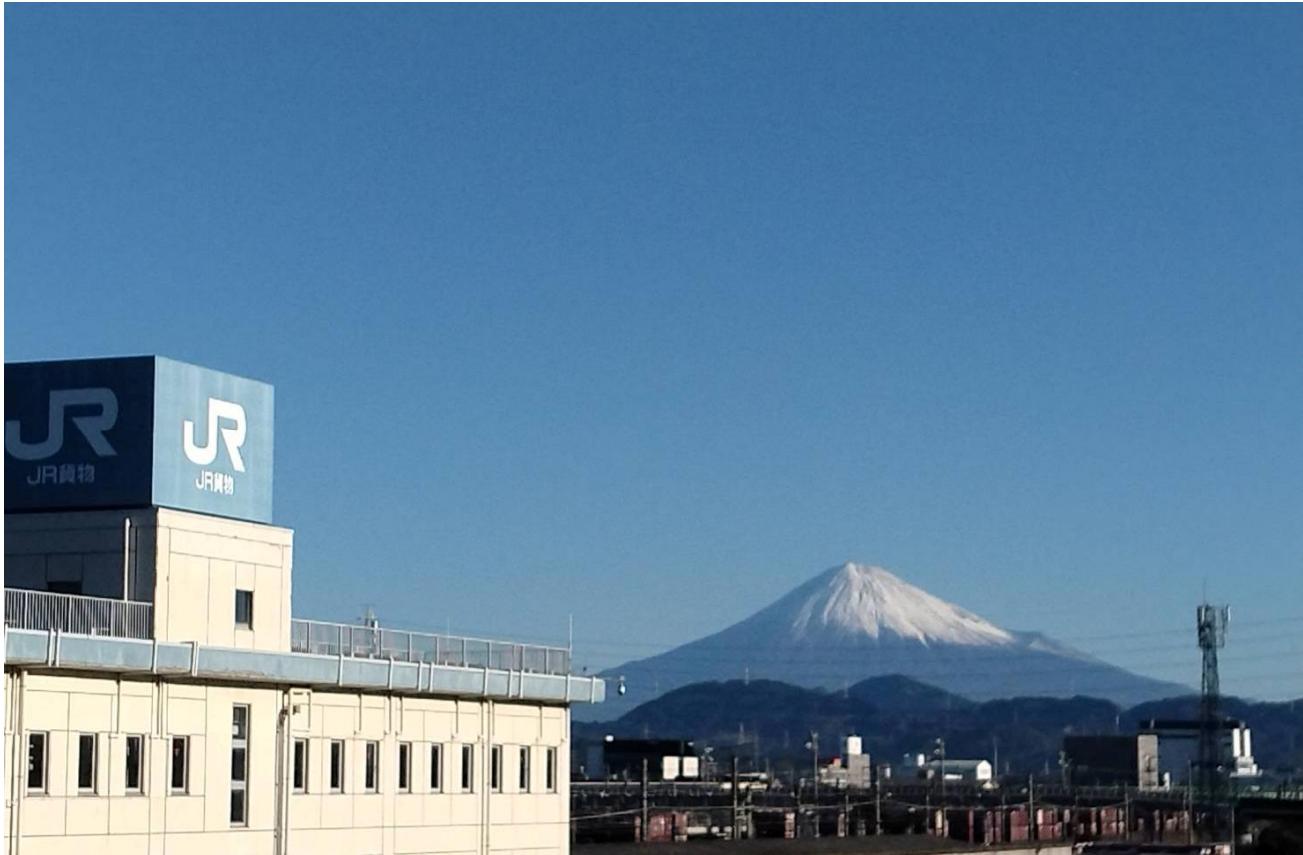


# 謹賀新年



あけまして

おめでとうございます

本年もよろしく

お願ひいたします

中央執行委員長

辻村和裕

中央執行副委員長

吉永和文

書記長

鈴木教仁

中央執行委員

埴岡大介

特別中央執行委員

菊地克敏

特別中央執行委員

小山達礼

青年女性委員会議長

小林優太郎

会計監査

鈴木俊巳

会計監査

加藤典久

職員

田中千絵

令和八年元旦



### 計村中央執行委員長

2026年あいさつ

謹んで新春をお祝い申し上げます。旧年中は大変お世話になりました。年齢を重ねると共に月日の流れが早く感じる今日この頃ですが、本年も貨物鉄道の発展に向け、気持ち新たに取り組んでまいりますので、ご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

新年にあたり、自分なりの決意を述べさせていただきます。

まずは、安全についてです。私たちは、JR連合方針のもと「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」を目指に取り組んでいますが、2017年12月16日、鹿児島線・千早操車場構内において旅客列車と触車し、組合員が犠牲になつたことは痛恨の極みであり残念でなりません。あの事故から

重大事象では、2024年7月、新山口駅構内において脱線事故があり、その後も、川内駅構内・函館線・森・石川駅構内・浜川崎駅構内・札幌タクシーホーム構内・東青森駅構内・北九州タクシーホーム構内と、約一年半という短い期間に連続して脱線事故が起きていることを深く反省しなければなりません。この状況は、約70日に一度のペースで脱線事故が起きていて、まさに異常事態とも言える、輪軸組立不正問題によりグループ会社全体で信頼回復に努めていますが、これでは信頼関係を構築することは出来ません。改めて「安全」について見つめ直し、業務においては常に責任感を持ち、再発防止・安全強化に対する取り組

営業費用増大もあり、厳しく経営状況から抜け出せないなか、昨年11月、財務省の財政制度等審議会より「JR貨物は、抜本的な改革が必要である」との主旨の答申が出されました。これを受けて、犬飼社長は「ピンチをチャンスに変え、鉄道貨物の必要性と重要性をアピールするきっかけになれば」と定例挨拶で発信しましたが、この沈んだ状況を打破するためにも、JR貨物が大きく変わるチャンスだと思っています。

2027年にはアボルール改定が控えており、JR貨物は「国鉄改革のスキルは守つてもらいたい」という立場ですが、1987年の国鉄改革から40年が経過し、時代は大きく変容しており、人件費高騰・材料費高騰・要員不足が顕著で、各旅

革を内外に示すことがアホルール改定を進めていく上でも非常に重要なだと思います。コロナが収束し、2024問題においても輸送量が伸び悩み、会社全体が暗い雰囲気となっていますが、ピッチをチャンスに変え、労使が一体となつてこの難局を克服していきましょう。

鉄道強靱化については、年々、自然災害が甚大化しており、河川の決壊等による鉄道被災が相次いでいます。復興に貢献できる安全で信頼されるJR貨物会社を築きあげ、社会的使命を果たし災害に強い強度な鉄道設備を早期に作り上げるようJR連合と共に取り組んでいきます。

次に組織課題です。2023年度に国鉄組が60歳になる大きな転換期から2年が

合・貨物鉄道労・各口シ労組  
が連携を密にし、その総力を  
結集し組織運動を盛り上げて  
いきたいと思います。

次に労働条件についてで  
す。人事制度一部見直しによ  
り、退職年齢が65歳となりま  
したが、若い社員は、今の生  
活を楽しく謳歌したいため、  
賃金面において、多くの不満・  
不信・不安を抱いています。

春闘・期末手当では低額回  
答が続き、社員のモチベーシ  
ョンは下がるばかりで、この  
状況は会社の発展にも支障を  
きたします。日本の人口は、  
今後、毎年90万人近くが減少  
していく、10年後には100  
0万人近くの人口減となるこ  
とが確実だと言われていま  
す。人口減の将来を見据え、  
多くの企業が労働者確保のた  
めに賃金改善を積極的に進め  
るなか、JR貨物は明らかに

みを、より一層作り上げて、いかなければなりません。安全に終わりはありません。

客会社においてもかなり厳しい状況であることは間違いないありません。

経過しました。先輩方の「尽  
力により、これまで築き上げ  
た鉄産労を今後も守っていく

遅れをとつており、離職防止・優秀な社員確保のためにも、会社は積極的な人財投資が必要あります。春闘・期末手当・人事制度においては、組合員の切実な声を拾い、何より会社全体を明るくするためにも、労働条件改善を強く要望していきます。

最後に、私は平成5年(1993年)4月、20歳で入社し、30年以上が経過しました。これまで大きな病気もな

く、昼夜を問わず仕事や組合活動に従事できるのは、家族の多大なる理解や協力のおかげであり大変感謝しております。今後も感謝の気持ちを忘れず日々精進していきたいと思っております。

これからもあらゆる角度から貨物鉄産労運動・運営を精査し、これまで築き上げた貨物鉄産労がさらに発展するよう頑張っていく所存です。組合員の皆様におかれましては、体調を崩しやすい時期であります。お身体に気をつけ、今後も本部に対し叱咤激励をお願いし、私からの挨拶を終えたいと思います。本年も宜しくお願ひ致します。

JR産業の基盤は安全と信頼です。これまでの不断の取り組みによりJR産業の安全性は確実に向上来ていますが、改めて、各職場で危険やリスクの洗い出しをおこ

## 2026新年あいさつ



上村JR連合会長

なつて頂くことを要請します。「安全なくして生産なし」。ホンダの創業者、本田宗一郎氏の言葉です。組合員の皆さんのが安心して働くことができる環境なくして、事業の運営は成り立ちません。

JR産業では昨年7名の方が労災で命を落としました。そのうち4名が熱中症です。

昨今の猛暑下では従来の対策だけでは不十分です。各職場での臨機応変な対応を行

うことをお願いいたします。

第二に、2026春季生活闘争についてです。昨年の春闘では、多くの単組が過去最

高額のベースアップを勝ち取るなど、大きな成果を収めることができました。しかし

ながら、JRグループでは今

なお人財の確保・定着に苦労

しています。JR産業の魅力

を高めるためにも、継続的な賃上げが重要であることは論をまちません。社会全体では、高止まりしている物価の影響で実質賃金のマイナス

が続いていますが、最低賃金

は6%以上上がりました。人

財への投資は最大の成長投

資です。2026春季生活闘争においても、堂々とベースアップを掲げ、積極的な賃上げにこだわってまいります。JR連合加盟全単組がワンチームで取り組むこととします。

第三に、男女平等参画につ

いてです。昨年10月に開催された「連合ジェンダー平等推進集会」に寄せられた、国際労働組合総連合（ITU）C）平等局長のメッセージを

紹介します。「男女平等、ジェンダー平等なくして民主主義は存在しえない。女性がリーダーシップを發揮することで、労働組合はいつそう強

くなり、より包摂的になり、すべての人々に社会正義をもたらす」。JR産業における女性活躍がようやく進み始め、労働組合への女性参画の輪も確実に広がっています。女性が運動に参画しやすい環境は、誰もが運動に参画しやすい環境です。男女平等参画を通じ、組織と運動をさらに拡大・強化して

幸せ実現のために、この一年、全力で諸課題に正面から向き合い、取り組みを進めることを決意を申し上げ、年頭のご挨拶とします。

「たすけあいの輪をむすぶ」  
こくみん共済 coop は、次のステージへ

こくみん共済 coop

全国労働者共済生活協同組合連合会

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済 coop NEWS



公式キャラクター  
ピットくん

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にともづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。